



月刊 神戸のサッカー

1981 6月号

発行所 神戸市サッカー協会
 神戸市中央区八幡通2-1-10
 二木記念神戸市立スポーツ会館内
 〒651 (078) 232-0753
 発行人および編集人 加藤 正信
 神戸市灘区上野通6丁目3-1-2
 〒657 (078) 861-3100

毎月1回10日発行 購読料1部50円

100号 機に新たな飛躍を！

創刊100号を祝して

神戸市協会会长 河本春男



神戸にサッカー・ニュース紙が誕生して100号。関係各位のご努力と会員皆様のご支援によって順調に進み、今日を迎えました。その間、サッカーの普及発展に大いに貢献し得ましたことを皆様と共に深く感謝し、ご同慶の至りに存する次第でございます。

我が國の今日は、誠に恵まれた状態にあります。国際的な役割も大きくなり、日本人の資質の向上が今日ほど内外から強く求められている時代はかつてなかったと思います。かかる時代に生をうけた我々は豊かさに甘えることなく、つとめて難きに就き、自らを磨くことに喜びを見出し、生きがいをそこに求めるようにいたしたいものであります。

心身一如の健康が人生における最も基本となる要素であると考えますが、特に若人は文武兼備の学徒であって欲しいと思います。若い時は肉体的にはエネルギーを発散して体を鍛えるとともに、心にはフェア・プレーの精神、ルールを守り、正しさを実行する勇気がなければなりませんが、サッカーは心身の鍛錬に最も効果のあるスポーツであると考えています。私がサッカーを通して身についた特性は、公正の精神と共に「常に一步先んじ一刻早く」タイミングのよい先制を行う性格であります。これは誠に感謝に値するものであります。今日企業経営の上にも、自然にそのような結果となって現れています。こういうことを「無意識の意識」というのだと思いますが、サッカーの醍醐味はこれだと感謝している程でございます。

人間の心と体は一つであります。心あって



第1回全日本少年大会県大会決勝(52年7月10日尼崎) 西淡津井(PK勝ち)5-5神戸FC シュートする神戸FC溝畠哲朗は現在高1.ナショナル・トレセンの候補に成長した。

の体であり、体あっての心であります。ちょっと顔を見ればその人がどんな人か直感的に分かる程人の体と心は一体不二のものでありますし、若い時代は頭も体も成長盛りでありますから、バランスよく鍛えれば両立することができます。これが、若人の特権であります。

神戸のサッカー・ニュースが全国に先がけて発刊され、サッカー人口の増加に貢献して100号という歴史の節を迎えたことは誠に喜びに堪えませんが、今日我が国のサッカーは国際レベルにはまだ到達しておりません。「ロス五輪予選突破のための56年度」をスローガンに代表選手諸君が猛練習を続けていますが、その底辺を支える若人の中からすぐれたプレーヤーが続々生まれることを期待いたします。

サッカーを愛し、ご支援下さる多くの皆様の一層のご愛顧をお願いし、今日に至る公私にわたるご高配に厚く御礼を申し上げましてご挨拶といたします。

神戸のサッカー

100号を迎えて

神戸市協会理事長 一北四郎



神戸市サッカー協会が今日のように少年から社会人まであらゆる年令層のサッカー愛好者を組織化して運営はじめたのは昭和45年頃だったと記憶しております。

当時、加藤正信理事長(現会長)の陣頭指揮のもとに数々の改革や新しい事業を実施してまいりましたが、その中でも『神戸のサッカー』発行は他に誇れる事業でした。

初めの頃は記事の内容も乏しく読者の関心も薄かったため、どうすれば読者の興味を引きつけられるか色々苦心されたようです。

今日では読者の関心も高まり逆にその要望

を満すのに苦労している状態です。

編集メンバーも次々と入れ替わりましたが、その間常にニュース発行の中心として、又新しい企画の推進役として努力された加藤先生には感謝のことばもありません。

発足当時、発行費の大半を賄う広告料で協力をいただいた各企業、現在はペプシコ(株)の多額の援助なしには今日の100号を迎えることが出来なかつたと厚くお礼を申し上げます。

神戸のサッカー、ひいては日本のサッカー発展のためになすべきことは色々ありますが今後とも『神戸のサッカー』を通して神戸のサッカー愛好者の進む方向を探り、みんなの悩みをぶつけ合って解決の道を見い出す羅針盤の役割を果したいと願っております。

今日、100号を迎えるまでに御尽力下さった編集委員会の皆様の努力に深い敬意をはらうと共に、今後さらに150号、200号へと発展させるべく、読者の皆様や関係者の皆様に対し、一層のご支援とご協力を賜りますようお願いを申し上げまして、100号発行のお祝いのことばとします。

200号、300号を期待

日本サッカー協会専務理事 長沼 健

「月刊『神戸のサッカー』」が、創刊されて100号に達しました。毎号興味深く拝見していますが、加藤先生はじめ、編集・発行にご活躍の方々に、心から敬意を表します。

青少年の健全な育成にとって、サッカーが最適のスポーツであることは、諸外国の例を引用するまでもなく明白ですが、その良き実践者として加藤先生をはじめとした「神戸のサッカー」の関係者の方々のご努力には高い評価が示されています。

「神戸のサッカー」は関係者の方々の鉄壁のチーム・ワークによって100号を迎えるされました。さらに200号、300号をめざし、大きく発展されますよう心からお祈りいたします。

加藤先生と共に(日本協会少年委員長)

静岡ユースサッカーフィールド 堀田 哲爾

静岡ユースサッカーニュース(静岡協会機関紙)も実は「神戸のサッカー」を見本として発行してきました。100号と1口で言つても10年間の努力は本当に大変でありその功績はすばらしいものだと思います。スポーツをしている人は記録とか文を書く事、書き残していくことががての人が多く時間が進むにつれて忘れることが多くなるでしょう。しかし、1回1回発行されました「神戸のサッカー」は神戸のサッカーの歴史であり、人脈であり、人の和の物語でもあると思います。100回にわたって記されました記事とニュースはこれから神戸のサッカーの方向を教えてくれるでしょうし、一つの大きな実績となつた事も事実です。私はこの仕事を統け、苦労をさりげなくしてやります。加藤正信氏に心から敬意を表します。ニュース集め、編集、配布、予算、すべての面にうまくいってあたりまえ。ミスは攻められる。この様な機関紙作りの偉大な機関車にいつまでも健康で200号、300号も見せていただくことを期待してやみません。

五つの夢追い求めて……

神戸兵庫のサッカーに思う

加藤正信

本誌をもって100号を迎えることになった。感慨無量である。一口に100号といつても月刊だから休みなしで8年以上かかる。この間、編集に携わる人、読んで下さる方々、スポンサーとして発行資金をお送り下さる方等すべての善意のどれが欠けても100号は成り立たない。関係の皆さんに厚くお礼を申し上げたい。

本誌の編集方針は次の五つである。

わたくしたちはサッカーニュースを届けます。
わたくしたちは青少年のサッカーを育てます。
わたくしたちはサッカー仲間の手を結びます。
わたくしたちは市民のサッカー熱を高めます。
わたくしたちはサッカー王国兵庫を夢みます。

この五つの立場から100号を振り返るとともに私見を交えながらいさか神戸兵庫のサッカーの歴史と将来を考えて見たいと思う。ご批判が頂ければ幸いである。

①いつどこでどんなゲームがあるかの予報とリーグや大会の成績がどんな具合だったか、関係者が一番知りたい点であり、本誌の使命でもある。原稿の集め方がまことに遅れることが多く予報が予報にならないことがある。特に最近その傾向が強いので反省している。

試合や大会の成績、速報は新聞、テレビに任せると、まとめは本誌でお知らせするつもりでいる。その意味でリーグ、大会の成績は極力集録するし、本号から数回に分けて記録する発刊から100号までの主な記事の一覧表はお役に立つのではないだろうか。

サッカーランドがどこにあるのか、リーグ戦や大会がどんな組みになっているのか、上部リーグにつながるのはどれか、協会の組織は？協会への新規登録はどうすればよいか、まだまだ分からぬことはたくさんある。本誌は100号を記念して協会と協力し神戸兵庫のサッカーのすべてを一冊にまとめた「サッカー案内」を編集し、近く皆さんにお届けしたいと考えている。

②わたくしたちは青少年のサッカー育成に奉仕したい。神戸兵庫の青少年のトップを育てて日本の代表につなげることと、サッカーの普及に役立ちたい一心である。

清水で生れ、去る12月に私たちより一足先に100号を迎えた静岡の「ユースサッカー」は姫田理事長以下の方針で青少年育成の記事に徹している。私たちは今のところそこまで徹底できず、社会人の方々にも読んでいただいている。静岡の発行部数は2万5千、私たちは1万である。この意気込みの差が少年サッカー育成に影響しているとするのは考え方過ぎだろうか。私たちは兵庫県下津々浦々までこのニュースを行き渡らせて、倍増はおろか少くとも10万部発行を夢みている。協会の皆さん、読者の皆さんのご意見とご協力をお願いしたい。

ここで青少年の育成について考えて見たい。編集委員が84、85号で「サッカー王国兵庫の

再建策を語る」座談会を特集した。司会者が最後に「嘆くばかりが能ではない」といつていており、どうすればよいのか具体策に欠けるうらみがある。

今日王国を誇る清水では今から20年以前にまづ指導者作りをして普及と技術向上の第一歩を踏み出し、その指導者陣ががっかり手をつないで今日の清水、静岡を作り上げた姿は見習うべきではないだろうか。神戸兵庫の少年サッカーの普及と發展のためにはまだ指導者養成が大切である。

神戸のサッカーで無視できないのは兵庫サッカー友の会で、昭和38年12月1007人の会員でスタートしている。友の会の肝入りで40年4月から神戸少年サッカースクールが、41年11月にはサッカースポーツ少年団男子12団、女子1団が生れた。神戸市スポーツ少年団サッカーリーグを結成したのが44年10月、第1回兵庫少年サッカー大会を開催したのが44年2月で、ともに県少年サッカー育成の基礎が固まつたといえよう。神戸で最も早く生れた少年団は戦前は別として、昭和35年灘区成徳小学校の校区の林幸男、鶴谷之氏が作った六甲少年蹴球団で、それから20数年になるがいよいよ形が整つてからは12年にしかならない。青少年の体力作り」「仲間作り」を歌うスポーツ少年団は純然たる社会体育で東京で名乗りを挙げて26年になる。県の少年サッカー過疎地である日本海側はスポーツ少年団の線で普及を進めてはどうだろう。

54年度日本で行われたユース大会に日本が予選リーグに敗れ、決勝トーナメントに進出できなかったことと考え合わせれば、これから先日本のサッカーが世界に追いつくにはブロードの道しかないとおのずから答は出てきそうだ。

③わたくしたちはサッカー仲間の手を結びます。本誌を通じて読者の意見交換やチーム、人物の紹介がほしいと思うが、まだ十分とはいえない。

④わたくしたちは市民のサッカー熱を高めます。神戸市協会が47年春、下部組織を整え再出発した直後に宮崎神戸市体育協会長はある会合で市協会のあり方は市民全体のスポーツ熱を高めるものと紹介されたことがある。それは47年から始めた勤労者やサッカーパーに入らない高校生を対象とした高校生のユースサッカーリーグやそれ以上の年令層を対象としたOBサッカーリーグを指して言られたものだと思う。

神戸御崎の中央球技場を日本リーグ1部の試合でも一杯にしたいと努力を重ねているがどうも十分ではない。逃げ口上のようにとられては困るが、日本協会が有料試合規定を改め、私たち主管者が努力をすればする程主管者が潤うよう配慮してほしいものである。

本誌100号を記念して行う次のミニサッカーリーグ大会も市民すべての階層に呼びかけ、協会登録者も未登録者も参加して頂きたい。

とき：9月15日（午前）

ところ：神戸市御崎市立中央球技場

特に市の児童福祉施設も招待して全市的なサッカーフェスティバルとしている。

⑤わたくしたちはサッカー王国兵庫を夢みます。先日亡くなった三共生興会長三木滋氏と社長三木武さんのご好意、それに神戸及兵庫県協会のご理解で54年7月完成した磯上の三木記念神戸市立スポーツ会館の落成式で宮崎神戸市長の述べられた次の言葉が私の胸に焼きついで片時も忘れない。「さきに作った御崎の中央球技場を生かし、この会館の運営よろしきを得て、神戸から日本一のサッカーチームを一日も早く誕生させてほしい。」

本誌100号までの編集と発行、兵庫サッカー友の会、神戸少年サッカースクール、神戸市サッカースポーツ少年団、神戸フットボールクラブなどの誕生と運営、神戸市サッカーチームを一日も早く誕生させてほしい。

社会体育クラブとして神戸FCはユニークな活動をしている。高校生年令のユースチームは協会の2種の年令で構成したチームでありながら第1種に登録しているが、目下兵庫県リーグのトップクラスである。そして、高校のトップクラスともいいゲームをしている。神戸FCの中学生チームは53年度兵庫県中学生選手権大会に初めて参加が許され、神戸市予選ではA、B2チームが勝ち残り、Aは県大会でみごと初優勝を飾っている。そして神戸FCの小、中、高校生とも素晴らしい少年が育つつある。

サッカー王国再現に神戸中央球技場は不可欠

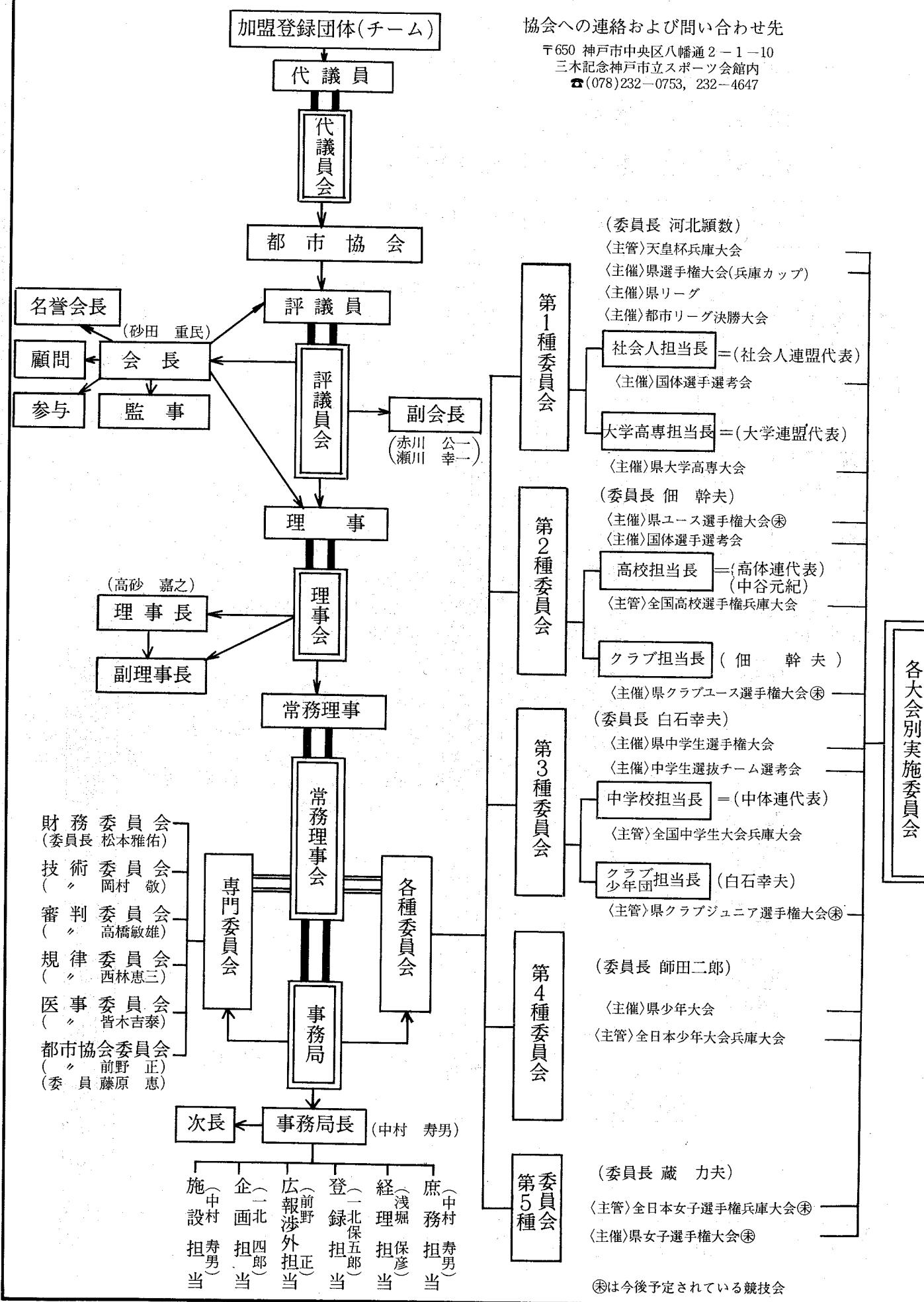
。そこで青少年の育成について考えて見たい。

編集委員が84、85号で「サッカー王国兵庫の

</div

号 数	組織・施設外	主な競技会				
		第1種(一般)	第2種(高校生年齢)	第3種(中学生年齢)	第4種(小学生年齢)	第5種(女子)
12 号 48.7.1	OBリーグ日程	・天皇杯県代表、神戸FC、川鉄、神戸市役所A、兵庫カップ神戸FC優勝 ・市総体、県社会人リーグ日程		・第3回ジュニア・サマー・フェスティバル ・市中学総体鷹匠中優勝 ・全国大会県予選上野中優勝、関西大会で勝つ全国大会へ	・第4回ジュニア・サマー・フェスティバル ・全国少年大会県予選東灘優勝 ・48年スポーツリーグIV部成徳、東灘優勝 V部北須磨C優勝	・同左、VI部高倉中女子優勝、VII部北五葉小優勝
13 号 48.10.1		・県社会人リーグ日程 ・第3回全国自治体大会神戸市役所A3位	・全国高校総体神戸高1回戦敗退 ・48年度全国高校選手権県予選ベスト8 ・第28回国体少年の部県代表	・第3回ジュニア・サマー・フェスティバル1部(中1)藤枝中優勝 ・全国中学生大会上野中2回戦敗退 ・近畿大会鷹匠中予選敗退	・同左、2部(小5) 6) 清水A優勝、3部(小4) 清水B優勝 ・第1回神戸市少年大会要項 ・第7回全国少年大会東灘ベスト4入り	・同左、女子の部
14 号 48.11.1	・近江達氏「神戸の皆さんへ」	・県社会人リーグ運営改善 ・関西社会人トーナメント ・県都市対抗 ・県社会人リーグ前期成績 ・神戸市総体灘区(神戸FC)優勝	・神戸市高校新人大会兼県大会神戸地区予選	・県中学選手権予選 ・第17回県中学総体第25回県中学選手権鷹匠中優勝 ・全国大会出場の感想(上野中、木下)	・第25回県中学選手権優勝の鷹匠中	
15 号 48.12.1	・天皇杯全日本大会準決勝 ・神戸市協会理事会人事 ・西邑昌一氏「最近の感想」① ・西日本OB神戸招待大会 ・賀川浩氏サッカー ・マガジン12月号に「年寄りサッカーのすすめ」投稿	・天皇杯関西大会県代表全チーム敗退 ・県社会人リーグ成績	・神戸市高校新人大会葺合高優勝、県大会に上位6チーム送る	・第1回ジュニア・ウインター・フェスティバル ・第1回神戸市少年大会グループ予選終了	・同左、北五葉と明親が決勝	
16 号 49.1.1	・年頭の辞、神戸市長、市協会理事長 ・西邑昌一氏「最近の感想」② ・大阪で国際試合 ・市協会委員会メンバー ・県協会社会人総会	・関西トーナメント神戸FC、川鉄敗退 ・県都市対抗神戸市優勝 ・県社会人リーグ成績	・48年度全国高校選手権大会神戸高出場	・第1回神戸市少年大会東灘優勝	・同左、北五葉優勝	
17 号 49.3.1 合併号	・県スポ少育成協議会設立総会 ・県協会下部組織発足 ・第3回神戸市フェスティバル ・第5回県コーチングスクール	・天皇杯兵庫県予選 ・48年度県社会人1部リーグ終了		・岩谷杯関西大会上野中決勝で惜敗 ・第24回神戸市大会高倉中優勝 ・第7回中学生大会鷹匠中優勝		
18 号 49.5.1 合併号	・県スポ少育成協議会設立総会 ・県スポ少指導者、リーダー養成研修会 ・神戸市協会臨時総会	・第16回神戸市民大会 ・神戸市社会人委員会1部8チーム、2部A、B各10チーム3部A~E各8~9チーム決定	・県高校新人大会芦屋高優勝、上位5校近畿大会出場、いずれも敗退	・第16回神戸市民大会中学生の部高倉中優勝	・第16回神戸市民大会中学生の部高倉中優勝	49年6月神戸中、高校選抜2チームは中華人民共和国を訪問した(総監督 加藤正信)
19 号 49.6.1	・天津派遣チーム決定 ・日英戦 ・JFAリーダー養成講習会 ・レク・リーグ ・県スポ少育成協議会研修会	・神戸市社会人リーグ運営委員会 ・関西社会人リーグ ・第16回神戸市民大会結果		・第16回神戸市民大会中学生の部高倉中優勝	・第16回神戸市民大会中学生の部高倉中優勝	・神戸市スポ少リーグIII部成徳、IV部神戸FC・E優勝
20 号 49.9.1 合併号	・ニュースの様式を横書き4頁に変更 ・県協会高砂理事長あいさつ	・天皇杯県代表決定	・天津友好訪問 ・全国総体へ葺合高出場 ・全国高校選手権県予選 ・神戸市総体高校の部日程	・同左 ・第4回ジュニア・サマー・フェスティバル	・同左 ・第4回ジュニア・サマー・フェスティバル ・神戸市中学総体高倉中優勝 ・第8回県中学生大会神戸市予選 ・神戸市スポ少夏季リーグ	・第4回ジュニア・サマー・フェスティバル ・神戸FC佐々木博和のドリブル(現在、松下電工、元全日本ユース)
21 号 49.10.1	・「フェア・プレー賞」考	・神戸市総体組み合わせ ・神戸市工高専全国大会出場	・国体少年の部出場選抜チーム ・神戸市総体高校の部神戸高優勝	・第4回ジュニア・サマー・フェスティバル ・神戸市中学総体高倉中優勝 ・第8回県中学生大会神戸市予選 ・神戸市スポ少夏季リーグ	・第4回ジュニア・サマー・フェスティバル ・神戸市中学総体高倉中優勝 ・第8回県中学生大会神戸市予選 ・神戸市スポ少夏季リーグ	第4回ジュニア・サマー・フェスティバル 枚方FC佐々木博和のドリブル(現在、松下電工、元全日本ユース)

兵庫県サッカー協会組織図 (S56.4.1)



神戸FCボーアイズ2連破

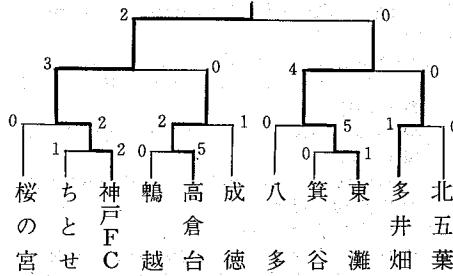
雨中ハッスル。
プレー光る

第5回全日本少年大会神戸市大会は5月17日、24日の両日、御崎少年グラウンドを使って11チームが参加して行われ、神戸FCボーアイズが2年連続3度目の優勝をした。

1回戦から好ゲームが続いたが、2年ぶりに優勝をねらう東灘と昨年全日本大会に出場した神戸FCボーアイズが決勝で対決した。前半立ち上がりすぐに混戦から神戸FCが先取

点を上げ優勢に試合を進めたが、しだいに東灘も力を發揮して雨中にもかかわらず決勝戦△決勝(5月24日、御崎少年)

神戸FC 2 (1-0) 0 東灘



アーセナルFC市民大会初優勝

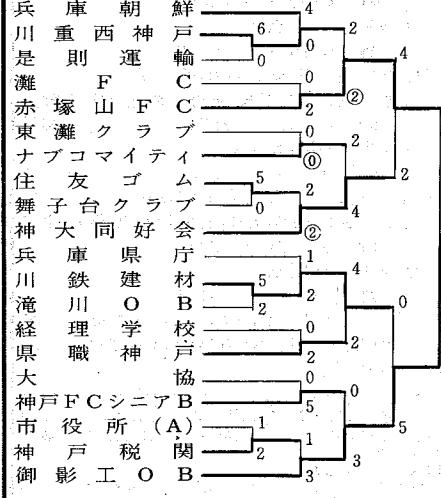
第23回神戸市民大会社会人の部は4月5日から始まり、5月10日、神戸中央球技場で赤塚山FC対舞子FCの3位決定戦に続いてアーセナルFC対御影工OBの決勝戦が行われ、スタミナに勝るアーセナルが延長の末で御影工OBを破り初優勝した。

今年は各チームとも若手を多く補強し、戦国さながらの様相で、従来の強豪チームが早々と姿を消す番狂わせが続出した。中でも赤塚山FC、御影工OB、舞子FCとベスト4に高校OBチームが3チームも進出し大会をもり上げた。特に準優勝の御影工OB、4位の舞子FCは市リーグ3部のチームであるがフェアできびきびした動きで好感がもてた。

△決勝(5月10日、神戸中央球技場)

アーセナルFC	3	1-1	1-1	2	御影工OB
		0-0	0-0		O B
		1-0			

第23回 神戸市民大会結果



関正スポーツ

東灘区住吉宮町4丁目6-13 ☎078(821)8449
国鉄住吉駅南側西へ20m

灘スポーツ

灘区倉石通5丁目1-8 ☎078(861)4671
市バス水道筋6丁目上る100m東側

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5番地 ☎078(576)0870
バンドウ化学南

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザーショップ、トアロード店 ☎078(391)0896
神戸・新開地店 ☎078(575)7688

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

オウビ

中央区琴緒町4-4-5 ☎078(242)3667
国鉄三宮駅北側神戸経理専門学校斜め前(田上ビル1階)

スメラ

湊川店 湊川プラザ2階
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(511)2234
☎078(592)0470

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m

マヤスポーツハウス

灘区森後町1丁目8-8 ☎078(841)8811
国鉄六甲道駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側

ヤノ運動用品

本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578

にふさわしい好ゲームを展開した。しかし、神戸FCは後半に再び得点し、東灘の猛攻をかわして県大会への切符を手にした。

神戸FCは6月14日、県大会1回戦を北播代表と対戦する。神戸市を代表してぜひ全日本大会へ出場してもらいたいものだ。

兵庫県サッカー協会役員一覧表

会長	砂田重民
副会長	赤川公一
理事長	瀬川幸一
常務理事	高砂嘉之
〃	吉江経雄
〃	津川昌治
〃	中村寿男
事務局長、庶務、施設兼任	事務局局長、庶務、施設兼任
〃	浅堀保彦
〃	一北保五郎
〃	前野正
〃	一北四郎
〃	松本雅佑
〃	岡村敬
〃	五嶋祐治郎
〃	高橋敏雄
〃	西林恵三
〃	皆木吉泰
〃	河北顕数
〃	藏力夫
〃	河内淳一
〃	佃幹夫
〃	中谷元紀
〃	白石幸夫
〃	師田二郎
都市協議委員長兼任	都市協議委員長兼任
技術副委員長兼任	技術副委員長兼任
財務委員長	財務委員長
技術委員長	技術委員長
技術副委員長、第1種委員大学担当兼任	技術副委員長、第1種委員大学担当兼任
審判委員長	審判委員長
規律委員長	規律委員長
医事委員長	医事委員長
第1種委員長、社会人担当兼任	第1種委員長、社会人担当兼任
社会人担当、第5種委員長兼任	社会人担当、第5種委員長兼任
第1種社会人担当	第1種社会人担当
第2種委員長、クラブ担当兼任	第2種委員長、クラブ担当兼任
第2種高校担当	第2種高校担当
第3種委員長	第3種委員長
第4種委員長	第4種委員長

編集後記

神戸市サッカー協会の機関紙「神戸のサッカー」は今月号で100号になりました。昭和47年5月に創刊号を発行して以来回を重ねて100号、神戸のサッカーの歴史をつづってきました。初代編集委員長辻豊氏、2代目上野勝幸氏、3代目橋本博之氏らの苦労は必ずしもサッカー王国の再現となって報われるにちがいありません。今月号は100号を記念して、協会と皆さんのチームとのかかわりについてできるだけわかりやすく解説しました。また1号から100号までの内容を今月号より数回に分けて掲載いたします。また、100号を記念して9月15日にミニ・サッカー大会が催されます。多くの方々に参加してほしいと思います。今後も200号、300号まで欠かさず発行せねばなりませんが、皆様のより一層のご協力をお願いします。

編集委員長 中村寿男

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒657 神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
神戸市サッカー協会 078-232-0753

なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



*Pepsi Cola and Pepsi are registered trademarks of PepsiCo, Inc. ©Another Quality Product of PepsiCo, Inc.